



## 原点は「どんな財宝より子どもは何よりも尊い宝」

3月14日(木)に、第2回運営協議会が開かれました。渡辺信委員長を座長に、センター所長が、1回目にいただいた貴重なご意見も含めて、本年度の事業のまとめと課題を報告させていただき、話し合いました。それぞれの立場で貴重なご意見をいただきましたので紹介いたします。



センター長の「教育センターは重要な役割を担っている。センターとして何を行うことが児童・生徒にとって必要かを大前提として、富士河口湖町の教育課題や学校のニーズに応えた事業を行ってきた。」の挨拶に続き、教育長さんからは、「教育センターは多くの役割を担っている。その中でも、学校に行けない子を支え、居場所を作っている。いじめ案件を受けての対応では解決に向けて大きな役割を果たした。センターは子どもたちのためにある。」とのごあいさつをいただきました。

議事に移って、「小学校、保育所の連携にセンターや教育委員会(就学相談員、スクールソーシャルワーカー等)が大きく関わっていただき、就学する子どもについて共通理解が図れ、お互いの戸惑いが少なくなっている。保護者との相談・連携もできている。」、県の教育相談に関わっている方からは「県で行っている教育相談では相談が激減している。それは、困っている人が少なくなっているのではなく、自治体や当センターのような身近な施設が役割を担っているからである。子どもたちのためにさらに充実してほしい。また、心理士のような専門的な資質をもった方も入っていただけるようになってほしい。」、また、「教育センターでは、学習・学校に気持ちが向くよう取り組まれている。しかし、学校との連携だけでは解決できない課題も増えてきている。心理士、子育て支援などの専門的なことがわかる方との連携がさらに必要になってくる。」さらに、「卒業してからがんばっている子がいる。卒業してからも訪れる子もいる。当センターの役割が大きかった。センターがなかったら今の姿はない。」「児童生徒の生活環境が影響している子についてもセンターの関わりが必要になってくる。今年度、来町していただいている菊池先生にさらに学びたい。」のように、当センターの意義とこれからの課題も出されました。

「保護者の子育ての不安や戸惑いが大きい方が増えている。そのことが子どもにも伝わっている。保護者への支援も大切である。」「『学校に行けない。』の前が大切。そうなる前の早めのフォローが大切。」など教育相談に関わる意見が多く出されました。その他に「教員派遣制度があり大変助かっている。」「英語支援スタッフが今年度配置され、とても有効である。」「教育センターのことを知らない人が多い。」など今回紹介しきれいほど多くのご意見・感想がありました。



梶原憲十郎先生 書

17名からなる運営協議会は、教育センターを設立当初より見守ってきていただいています。運営委員さん方からご意見をいただき、事業を推進していくことから、この運営協議会の存在意義は、大きいものです。今回、多くの方から話されたことは、「何よりも子どもが大切」ということでした。

## 蔵寶(ぞうほう)

「どんな財宝より子どもは何よりも尊い宝」

という意味で揮ごうされたと聞いています。教育センターに入ると右側の壁に掲げられ、ずっと、ずっと子どもたちだけでなく、来訪者・この教育センターを見守ってきています。(裏面に続く)

# 1年間ありがとうございました

## センター長(小河原徳博)

町教育センターでは、何を行うことが児童・生徒にとって必要かを大前提とし、関係機関との連携を密にしながら活動を行ってきました。町内教職員の資質向上を目指す教職員研修や調査研究、不登校をはじめとする学校に馴染めない子どもたちへの居場所作り・学習支援・学校復帰に向けての支援、教育に関する様々な悩みへの教育相談等に取り組んできました。また、自習にならないようにセンター所属の町単教諭の派遣もしてきました。さらに、今年度は小学校英語科の先行実施を行い、その対応にも取り組みました。富士河口湖町の児童・生徒、保護者やご家族の皆さん、先生方のニーズに応えた事業を行い、気軽に活用していただける教育センターを目指していきます。

## 英語教育支援スタッフ(八色正代, 奥真理, 渡辺真祐子)

学級担任・ALTと協力して楽しくわかる授業をめざしました。教科書の内容を中心に会話表現の歌、文字の形と音を三本柱にして、週2回の授業をしてきました。素直で元気な子どもたちの声と笑顔が励みでした。子どもたちの成長はすさまじく、英語の音にも文字にも慣れました。はじめは戸惑いも見えた5年生も自分にとってのヒーローを紹介するスピーチができるようになり、6年生は自分たちの町・理想の町について考え、ポスターを作り、発表し、小学校6年間の思い出スピーチもできました。個性豊かな子どもたち、児童数、学級数、地域性に応じて活動の内容を工夫してきました。英語が使えると世界は広がります。子どもたちが夢に近づくお手伝いできれば幸いです。

## 小学校6年生・中学校3年生のみなさん 御卒業おめでとうございます。

保護者の皆様に、心からお祝い申し上げます。

「子どもがいたから頑張れた。子どもとともに自分は成長できた。」こんな思いはありませんか。

卒業というのは寂しさとうれしさが混ざり、複雑な気持ちになります。でも、子どもの成長とともに大人も一緒に成長させられたということも忘れてはなりません。これは、大きな喜びです。これまで立派に我が子を育ててきた保護者の皆様と卒業生の皆様の御多幸と御健康を心からお祈り申し上げます。

## 教育相談員(渡辺徳市, 山口真澄)

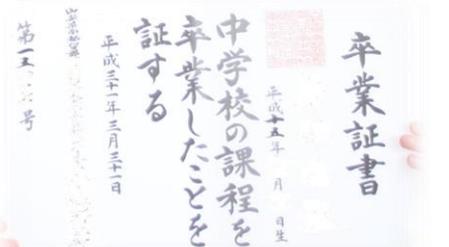
今年も悩みや不安を抱えた子どもたちや保護者の方々との出会いがありました。すぐに解決するものではありませんが、相談や活動を通して、話を丁寧に聞き、気持ちに寄り添いながら一緒になって考えてきました。その歩みは小さなものかもしれませんが、前向きに取り組む子どもたちの姿には確かな成長を感じました。これは私たちの大きな喜びです。

保護者の方々の理解と協力に感謝しながら、新たな目標に向かう子どもたちの活躍を心から祈ります。微力な私たちでしたが、この1年間ありがとうございました。

## 教育支援スタッフ(渡辺富美夫)

今年度は町内全ての小学校と中学校1校に派遣させていただき、体験学習プログラムでも子どもたちと様々な学習をしてきました。そこには、多くの子どもたちとの出会いがありました。素晴らしい出会いと温かく迎えてくださった学校職員のご理解ご協力に感謝いたします。

本年度の教育センターの事業が充実したのになりましたのも、保護者の皆様、町当局、学校、関係機関等のご理解とご協力があったからです。改めて感謝するとともに、次年度も引き続き、その責務を果たせるようがんばっていきたいと思います。ありがとうございました。



わたしに会えてよかった  
胸の鼓動も ときめきも わたしがいて気づいた  
だれも知らない音だけ  
私の殻をやぶる音 今日からはじまる  
何かいいこと

高村もと子「今日からはじまる」より